

令和3年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 市民と市政をつなぐ会)

経費項目	視察研修費		(会派名 市民と市政をつなぐ会)
整理番号	月日	支出額(円)	支出内容
1	5月12日	2,000	地方×国 政策研究会参加費
2	5月21日	5,000	マニフェスト大賞2021キックオフ研修会参加費
3	6月13日	10,000	全国地方議会サミット2021参加費
4	9月20日	5,000	トップランナーに学ぶ受賞事例研修会参加費
5	10月27日	1,700	三多摩議員ネット 学習会参加費
6	10月28日	7,550	令和3年度市町村議会議員研修「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」参加費
7	1月24日	5,000	オンライン研修会「オンライン議会最前線 実践と可能性」参加費
8	2月24日	1,000	草の根ロビイング勉強会参加費
小計		37,250	備考
合計		37,250	

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 1

調査研究費		【内容説明欄】 地方×国 政策研究会参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
03-05-12	██████████	カード 電信振替
記号	番号	番号
*****	██████████	██████████
取扱番号	お取引金額	
N256	*2,000	
	残高	
	*74,887	
振替先	██████████	
受取人名:	ジチタイキ インセイサクジ ヨウホウセンター ニシトミト	
料金	*100円	
依頼人名:	タムラ ヒロスキ	
スマホ決済アプリ	██████████	Pay
口座の残高確認も	可能です!	
ご利用いただきましてありがとうございました。		
██████████ 銀行		

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

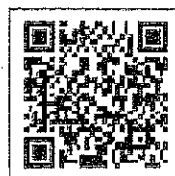
2021年5月11日(火)

13時～16時30分 (受付12時30分開始)

場所：オンライン (Zoom)開催

* 衆議院議員会館より中継・配信

第36回 地方×国 政策研究会



Zoomへの参加は左のQRコードを
読み込むか、下記のURLよりご参加
ください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_IMZeNz_oR7qfl1oJyZD0jw

今ここにある危機を考える！(気候危機・コロナ危機)

いまや気候危機問題は大きな課題になっています。

菅首相の2050年CO2排出実質ゼロ(ゼロカーボン)宣言を受け、自治体も372自治体が同様の方向性を打ち出しています。そんな中、将来のエネルギーのあり方を決める第六次エネルギー計画が6月には策定されようとしています。国の職員から現状をお聞きし、さらに具体的に進める手段として長野県の先進事例を学びます。

また、もう一つの危機であるコロナ危機を克服するためにワクチン接種事業が始まりました。供給量の不足に対して接種希望者が殺到するなど混乱の一方で副反応などの負の要素もあります。自治体で取り組む気候危機とコロナ危機への対処策を考えます。

○参考URL

新型コロナワクチンに関する自治体向け通知・事務連絡等

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_notifications.html

スケジュール予定(変更の可能性があります) *13時スタート 開会挨拶 / 趣旨説明

テーマ1 気候危機を考える

13:10～13:40 第六次エネルギー計画(経済産業省・環境省職員の説明)

13:40～14:50 「どう具体的にゼロカーボンを実現するか～長野県ゼロカーボン戦略(案)～」

講師：田中信一郎さん(元長野県職員、「信州はエネルギーシフトする」著者)

14:50～15:00 質疑応答 / 休憩

テーマ2 コロナ危機を考える

15:00～16:20 ワクチン接種の現状(国の職員もしくはセンター手配講師) *講師調整中

16:20～16:30 まとめ・お知らせ(今年の全国研究会開催について) 閉会の挨拶

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 2

調査研究費		【内容説明欄】 マニフェスト大賞 2021 キックオフ研修会参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - マニフェスト大賞2021キックオフ研修会「改革から変革へ 地域から日本を変える」
(オンライン開催2021.05.24)

発行日	2022年3月21日
宛名	タムラ ヒロユキ
合計	¥5,000
但し	チケット代金
注文日	2021年5月21日
注文番号	12403649
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	マニフェスト大賞2021キックオフ研修会「改革から変革へ 地域から日本を変える」 (オンライン開催2021.05.24)



印刷する

編集モード

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。



Manifesto Awards

5.24月

13:00-17:00

岐阜県多治見市
バロー文化
ホール
(多治見市文化会館)



マニフェスト大賞2021 キックオフ研修会

改革から変革へ ～地域から日本を変える～

全国の優れた活動にスポットライトを当て、善政競争を目指す「マニフェスト大賞」。2020年グランプリを受賞した古川雅典多治見市長をはじめ、優秀賞・エリア選抜に輝いた先進事例を学び、善政競争の輪を拡げるべく発信します。

基調講演

マニフェスト大賞 2020
グランプリ受賞

古川 雅典

岐阜県多治見市長

市民による政策選択から
実践までつながるシステムづくり



基調講演

マニフェスト大賞
審査委員長

北川 正恭

早稲田大学名誉教授



開催概要

日時 2021年5月24日(月) 13時～17時

会場 バロー文化ホール(多治見市文化会館)
〒507-0039 岐阜県多治見市十九田町2丁目8

対象 議員、議会事務局・自治体職員、市民など

会場定員 先着200名様
新型コロナウイルス感染症対策のため入場定員を制限して開催します。

オンライン参加可 オンライン参加の場合は定員の定めはありません。
参加費は会場参加と同一となります。

参加費 議員 5,000円 一般(議員・市民など) 2,000円

お申込み

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin>

【注意事項】
※定員(会場参加)に達し次第締切となりますので、お早めにお申込みください。
※チケット販売サービス「Peatix」にてお申込み・参加費お支払いをお願いします。なお、請求書払いを希望される場合は別途事務局までご連絡ください(手数料はご負担ください)。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、開催手法などが変更になる可能性があります。
こちらからお申し込みください



お問合せ

事務局 早稲田大学マニフェスト研究所(担当:亀井・山内)
電話番号:03-6214-1315 メール:mani@maniken.jp

特別セッション

オンライン本会議の可能性を探る 清水 克士 滋賀県大津市 議会局長
～模擬本会議を実施した大津市議会からの報告～

マニフェスト大賞から先進事例
～エリア選抜・優秀賞受賞事例報告～

澤野 伸 岐阜県可児市議会 議長

エリア選抜(東海エリア)

オンラインの活用や他議会等と連携し
進めた議会BCPの改定

前川 和治 福井県敦賀市議会議員

優秀コミュニケーション戦略賞

市の予算を市民と一緒に審査する
「みんなde議会」を実施

田中 健 愛知県知立市議会 前議長

エリア選抜(東海エリア)

議長主催による初当選議員勉強会や
オンラインへの道のり

東 善朗 (一社)Do It Yourself 代表理事

優秀コミュニケーション戦略賞

楽しみながら社会問題や政策の
存在に気づく「ゲーム限界都市」

主催

ローカル・マニフェスト推進連盟

マニフェスト大賞実行委員会

共催

早稲田大学マニフェスト研究所

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 3

調査研究費		【内容説明欄】 全国地方議会サミット2021参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 全国地方議会サミット2021「改革から変革へ デジタルで議会が変革する」(早稲田大学大隈記念講堂開催/オンライン参加可2021.7.7&8)

発行日	2022年3月21日
宛名	タムラ ヒロユキ
合計	¥10,000
但し	チケット代金
注文日	2021年6月13日
注文番号	12648670
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	全国地方議会サミット2021「改革から変革へ デジタルで議会が変革する」(早稲田大学大隈記念講堂開催/オンライン参加可2021.7.7&8)



印刷する

編集モード

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

全国地方議会 サミット 2021

7.7. & 8.

早稲田大学
大隈講堂

全国地方議会
サミット 2019

「全国地方議会サミット」は、地方自治の発展と地方創生の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。



北川 正恭
早稲田大学名誉教授
元三重県知事



片山 善博
早稲田大学教授
元総務大臣



平井 卓也
デジタル改革担当大臣



江藤 俊昭
大正大学教授
(4月就任予定)



廣瀬 克哉
法政大学総長
(4月就任予定)

※ほか議会事務局など多数登壇予定(随時HPで発表します)

改革から変革へ デジタルで議会が変革する

全国の議会関係者1,000人規模で開催してきた「全国地方議会サミット」。今年は「改革から変革へ」を掲げ、社会の変化やデジタル、先進議会の実践から議会事務局やメディアのあり方まで、さまざまな議論で大いに提起・発信します。

開催概要

日時 2021年7月7日(水) 13時から18時まで
8日(木) 10時から16時まで

会場 早稲田大学大隈記念講堂・大講堂
〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104

対象 議員、議会事務局・自治体職員、市民など

**会場
定員** 先着300名様
新型コロナウイルス感染症対策のため会場定員を制限して開催します。

**オンライン
参加可** オンライン参加の場合は定員の定めはありません。
参加費は会場参加と同一となります。

参加費 議員 10,000円 一般(職員・市民など) 5,000円

お申込み

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

【注意事項】
※定員(会場参加)に達し次第締切となりますので、お早めにお申込みください。
※チケット販売サービス「Peatix」にてお申込み・参加費お支払いをお願いします。なお、請求書払いを希望される場合は別途事務局までご連絡ください(手数料はご負担ください)。
※参加費は1日のみの参加でも同料金となります。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、開催手法などが変更になる可能性があります。

こちらからお申し込みください



お問合せ

事務局 早稲田大学マニフェスト研究所(担当:亀井・山内)
電話番号:03-6214-1315 メール:mani@maniken.jp

主催 ローカル・マニフェスト推進連盟
マニフェスト大賞実行委員会

共催 早稲田大学マニフェスト研究所
後援 全国市議会議長会

チャット オンライン/会場参加ともに下記のチャットツール(UMU)を使用してご意見を受け付けます(Zoomのチャット機能は使用できません)。URLにアクセスして、感想や質問を入力してください。

※ すべての質問にお答えできるわけではありませんので、ご了承ください。

▼第一日目 (7月7日専用)

<http://ba9077.umu.co>



▼第二日目 (7月8日専用)

<http://fd5518.umu.co>



プログラム

○第一日目【7月7日(水)13:00-18:00】

【オープニング】 13:00

【基調講演】 13:10-13:30
「チーム議会でデジタル変革を」
北川 正恭 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)

【講演】 13:30-13:50
「地域におけるDX -自治体DX・住民接点DXから地域活性DXへ-」
松本 良平 ((株)NTT データ 企画調整室長)

【特別講演】 14:00-15:00
「だれひとり取り残さないーデジタル庁の変革ビジョンー」
平井 卓也 (デジタル改革担当大臣)
= 質疑応答(時間があれば) =
※ 上のチャットツール(UMU)より入力してください。

【議会セッション】 15:15-16:30
「オンライン議会の最前線と議会からのDX」
前田 将臣 (大阪府議会議員)
齋藤 久代 (茨城県取手市議会議長)
鈴木 太郎 (自由民主党横浜市議員団団長)
中村 健 (コーディネーター/早稲田大学マニフェスト研究所事務局長)

【議会セッション】 16:45-18:00
「『議会からの政策サイクル』の作動とチーム議会への変革ー議会評価による検証を起点にー」
江藤 俊昭 (大正大学社会共生学部教授)
清川 雅史 (会津若松市議会議長)
川上 文浩 (可児市議会議員)
野澤 清 (日本生産性本部)

【クロージング】 18:00

○第二日目【7月8日(木)10:00-16:00】

【オープニング】 10:00

【講演】 10:00-10:50
「社会の変革とこれからの地方自治を展望する」
廣瀬 克哉 (法政大学総長)

【議会事務局セッション】 11:00-12:00
「チーム議会における議会(事務局)職員のミッション」
吉田 利宏 (コーディネーター/元衆議院法制局参事)
清水 克士 (滋賀県大津市議会 議会議長)
浜田 将彰 (東京都墨田区監査委員・前区議会事務局次長)
臼井 明子 (神奈川県茅ヶ崎市議会事務局次長補佐)

【講演】 13:00-13:15
「議会改革度調査より 議会DX・多様な参加の最新トレンド」
中村 健 (早稲田大学マニフェスト研究所事務局長)

【メディアセッション】
「映画『はりぼて』の現場から」 13:15-13:35
砂沢 智史 ((株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督)

「社会の変化とメディアからみる地方議会」 13:40-14:35
千葉 茂明 (コーディネーター/月刊「ガバナンス」編集主幹)
人羅 格 (毎日新聞社論説委員)
山下 剛 (朝日新聞記者)
杉田 淳 (NHK報道局 選挙プロジェクト 記者)
砂沢 智史 ((株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督)

【講演】 14:50-15:40
「社会の変革に対応する自治体と議会の役割」
片山 善博 (早稲田大学教授/元総務大臣)


【総括・宣言】 15:40-16:00
北川 正恭 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)

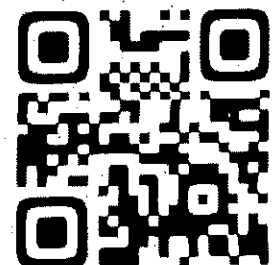
【クロージング】 16:00

- 登壇者資料は次のページから各自ダウンロードしてお使いください。
※ 会場ご参加の方も同様をお願い致します。印刷したもののお渡しはございません。予めご了承ください。

右のQRコードを読み取るか、下記のURLをクリックしてください。

<http://maniken.jp/summit/login>

ログインに必要なパスワードは、【  】です。



研修報告書

研修会名：全国地方議会サミット 2021

日時：2021年7月7日（水）13:00～7月8日（木）16:00 ※都内のため日帰り×2日

場所：早稲田大学大隈記念講堂・大講堂（東京都新宿区）

内容：

7月7日、8日の2日間にわたり、早稲田大学大隈講堂で全国地方議会サミット2021が開催された。テーマは「改革から変革へ デジタルで議会が変革する」。会場参加とオンライン参加の併用で400名ほどが参加した模様。十分な感染対策（座席は4席に1人程度）も行われていることから久々にリアル参加した。

1日目は、「だれひとり取り残さない—デジタル庁の変革ビジョン—」と題した平井卓也デジタル改革担当大臣の特別講演や、全国各地の先進自治体の議員による取り組み事例の紹介等が行われた。

「9月1日のデジタル庁の発足は100年に一度のこと。自分の選挙のことよりこちらが大事」と豪語する平井大臣からは、「地方議会のデジタル化は目的ではなく手段。それにより市民にとって何がプラスになるのか考えよ」という話があり同感であった。

議会セッションでは、オンラインで委員会を行った大阪府議会や取手市議会の事例、自民党横浜市会議員団による市民と共に政策をつくるプラットフォームの取り組みが、議会からの政策サイクルと議会評価については会津若松市議会と可児市議会の取り組みが紹介された。

2日目は法政大学の廣瀬総長や片山元総務大臣の講演、議会事務局セッション、メディアセッションとして、各地の議会事務局職員や、新聞やテレビ局の記者からの発表があった。

大津市議会の清水議会局長は、チーム議会の構成要件として、①会派を超えた議員間討議ができる文化、②議員と（事務）局職員の間でのフラットな関係性・協働意識、の2つを紹介していたが、わが西東京市議会にとってはどちらも簡単ではないぞとってしまう。

メディアセッションでは新聞社・テレビ局の記者による発表。ある種のマスコミ側の自戒として、議会と行政が対立するとつい「もめている」と悪いことのように書いてしまうが、二元代表制なのだからこれは当たり前で、本来ぶつかるものだという話、マスコミは政治家を

「悪いことをしている」という偏見の目で見えてしまうが、それを消す道は各議員がSNS等で日々の活動を発信すること、といった話があった。

最後に講演した元総務大臣の片山善博氏は、繰り返し「国から指示があるからその通りやっていたらいいという考えではダメ。これからは自分で考えていかなければ」と話していました。本当にその通りだと思う。

先進的な事例発表が多く、すべてをそのまま西東京市議会でもできるとは思えないが、そのエッセンスだけでも、できるところから少しずつ取り入れていきたい。

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 4

調査研究費		【内容説明欄】 トップランナーに学ぶ受賞事例研修会参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2021年11月10日&11日)

発行日	2022年3月21日
宛名	タムラ ヒロユキ
合計	¥5,000
但し	チケット代金
注文日	2021年9月20日
注文番号	13686846
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2021年11月10日&11日)



印刷する

編集モード

【留意事項】

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。



日本最大の政策コンテスト優秀賞が勢揃い!

トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会

地方議員をはじめ
地域課題解決に
取り組む方誰でも
参加できます!

オンライン

DAY1

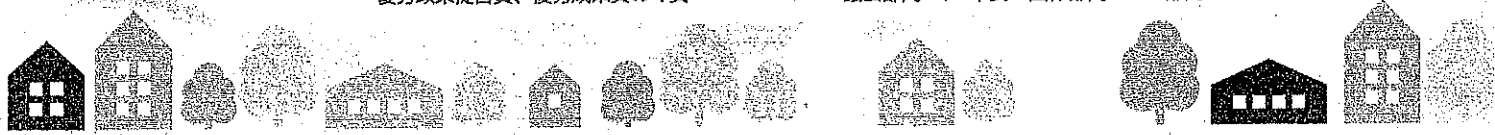
11/10 水
13:00-16:00

優秀躍進賞、優秀コミュニケーション戦略賞、
優秀政策提言賞、優秀成果賞の4賞

DAY2

11/11 木
10:00-14:00

優秀マニフェスト推進賞 <首長部門>、
<議会部門>、<市民・団体部門>の3部門



こんな研修会

「日本最大の政策コンテスト」マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップランナーが、最新の取り組み事例を発表!
全国各地の幅広い主体による最新の取り組みを、一挙に学べます



登壇者は

2021年マニフェスト大賞優秀賞受賞の団体・個人
優秀賞発表(10月上旬予定)後、順次発表します
(昨年実績:34の団体・個人が登壇発表)



▲ 昨年の冊子(例)



研修会の特徴

- ◆ オンラインで全国どこからでも参加できる
- ◆ 後日録画動画を見ることができる(事前申込者に限る)
- ◆ 受賞事例をまとめたマニフェスト大賞記念冊子を送付します
 - ※ 「マニフェスト大賞記念冊子<定価1,500円(税込)>」が参加費に含まれています。
 - ※ 研修会后、現物を郵送します。研修会当日は、電子データを送付します。
- ◆ オンライン交流会で全国の仲間をつくり、情報交換ができる
- ◆ 来年以降優秀賞受賞を目指す方にとっても、マニフェスト大賞のことをさらに知っていただける機会に

日時	2021年11月10日(水) 13時から16時まで 11日(木) 10時から14時まで ※11日昼休憩あり、18時から任意参加の交流会を予定	会場	Zoom ミーティング
対象	議員、首長、議会事務局・自治体職員、市民等	参加費	議員・首長等 5,000円(税込) ※2日間 上記以外 2,000円(税込)
		申込期限	11月7日(日)

お申込

<http://maniken.jp/manitaiseminar/>

《注意事項》1. お申し込み前にホームページ記載の留意事項を必ずご確認ください。

2. 請求書払いのご希望は事務局までご相談ください。

こちらからお申し込みください

《問合せ先》

事務局:早稲田大学マニフェスト研究所(担当:山内、亀井)電話番号:03-6214-1315 メール:mani@maniken.jp





Manifesto Awards

日本最大の政策コンテスト優秀賞が勢揃い!

トップラナーに学ぶ 受賞事例研修会

日本最大の政策コンテスト優秀賞が勢揃い!

こんな研修会

「日本最大の政策コンテスト」マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップラナーが、最新の取り組み事例を発表！
全国各地の幅広い主体による最新の取り組みを、一挙に学べます

この研修会の 特徴

- ・お申込者には録画を後日配信。当日参加できなくてもOKです。
- ・参加者には受賞事例をまとめた「冊子」を進呈（参加費に含まれています）。

Day1 11月10日(水)

13時から16時まで

『もっと開け!市民のための議会&DX推進でチャンスロスなくせ!』 知立市議会	市民が議場で思いを述べる 『はまだ市民一日議会』初開催 浜田市議会	『那賀町議会議会活性化の取り組み 一住民から信頼される議会を目指して』 那賀町議会	『誰一人取り残さず、子育てしやすいを実感できる街づくりの実現を目指すまつどでつながるプロジェクト』 まつどでつながるプロジェクト運営協議会
『行政らしくない漫画も交えた雑誌風戦略書で、町職員の広報などの意識向上!新刊が発刊する度に、職員レベルも段階的にアップ!』 一梯町役場デジタル変革戦略室	『「SNSガイドライン」の策定による 有権者との円滑なコミュニケーション』 江東区議会議員 鈴木 綾子	『外国ルーツの若者たちによる映像制作を通じた 社会参画の取組み Glocal Cinema Meetup!』 一般社団法人リテラシー・ラボ	『参加型民主主義プラットフォーム「加古川市版 Decidim」の導入 ~コロナ禍における新しい市民参加型合意形成のカタチを実現~』 加古川市役所企画部政策企画課スマートシティ推進担当
『福山アンバサダー』 福山市	『流山で本当の意味での森のまちを実現するための、 みどりのパラダイムシフトを目指した取組み』 Social Green Projects in NAGAREYAMA	『コロナ禍の困窮者支援の取組み、生活保護行政の 改善、「コロナ災害対策自治体議員の会』』 足立区議会議員 小椋 修平	シビックテックによるデジタル政策提言 「技術駆動都市ヨコハマ 2030」 Code for YOKOHAMA
『政治家だって住所公開するのは怖い。立候補時に住所が全世界 に公開されるのを止め、旧姓をもっと簡単に使えるようにする。』 WOMANSHIFT	『議員のネットワーク、専門家との意見交換により、行政のみならず 民間企業等へもエビデンスに基づいた提言を行う議員連盟』 子どもの事故予防地方議員連盟	『遊佐町少年町長・少年議員公選事業 「若者の力で、遊佐の未来をつくらう!」』 遊佐町少年町長・少年議員公選事業	『全国で初となるデジタルIDやブロックチェーン等を 活用したインターネット投票による生徒会選挙の実施』 つくば市政策イノベーション部
『地方公務員が一般社団法人を設立して町の財源を生み出す@栃木県茂木町 ~20年後の子どもたちに住みよい環境を創るため~』 一般社団法人Social Up Motegi	『ウィズコロナ時代を見据えたオンライン 本会議実現へのミッションロードマップ』 大津市議会	『デジタル活用で特別定額給付金を最短4日で 給付! ~離島自治体のデジタル化への挑戦~』 奄美市 押川 裕也	

Day2 11月11日(木)

10時から14時まで ※12時から13時昼休憩

『政策カタログ【新しい大津町をつくる101の具体策】 を確たる基盤としたマニフェストサイクル』 大津町長 金田 英樹	『「デモテック&音声テック」CT・AI・ 住民・議会による新しい民主主義を推進』 取手市議会・同議会事務局	『出産・子育てが政治参画の障壁とならない、 誰もが参画しやすい議会の法規・環境整備の取組み』 出席議員ネットワーク・子育て議員連盟	『議会の広域機能強化!将来の高山市を担う高校生 の意見を政策の起点に~求められる市民意見の多様性を担保する~』 高山市議会
『議会は住民自治のプラットフォーム - 新型コロナ対策事業に関する課題懇談会を開催し、住民が望む コロナ対策を提言-』 西脇市議会	『九州の地方議会活性化のための議員間ネットワー クづくりと意見・情報交換や勉強会などの場づくり』 輝け!議会 対話による地方議会活性化フォーラム	『地域におけるジブンゴト体感プログラム Simulation Moriokaを軸とした人材育成プロジェクト』 ドリーム・シード・プロジェクト	『知的・発達障がい者のための主権者教育の手引き作成 によるわかりやすい主権者教育の普及啓発の取組み』 知的・発達障がい者のための主権者教育の手引き製作委員会
『市政にアクション!議会にアクション!新たなつながり、 新たなまちづくりをめざす「まちづくりアクション@日進」』 まちづくりアクション@日進	『高校生による奈良市へのまちづくり提案コンテストと奈良市長 選公開討論会の開催、仲川市政検証評価論文集の作成』 政策研究ネットワーク「なら・未来」		

会場 : Zoom ミーティング (完全オンライン)
 参加費 : 議員・首長等 5,000 円 (税込)
 上記以外 2,000 円 (税込)
 申込方法 : 裏面の FAX 専用申込用紙かウェブ 期限 11月7日まで
 ウェブサイトは <http://maniken.jp/manitaiseminar/>



《注意事項》 1. お申し込み前にホームページ記載の留意事項を必ずご確認ください。
 2. FAXにてお申込の場合は請求書を順次送付します。

《問合せ先》 事務局 : 早稲田大学マニフェスト研究所 (担当 : 山内、亀井) 電話番号 : 03-6214-1315 メール : mani@maniken.jp

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 5

調査研究費		【内容説明欄】 三多摩議員ネット 学習会参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領 収 証 市民市政センター会 様 No. _____

★ ¥ 1,700-

但 学習会参加費

2021年 10月 27日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳
税抜金額 _____
消費税額等(%) _____

三多摩議員ネット
担当 [Redacted]

コクヨ ウケ-55

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

高尾山学園視察について

(1) 行政視察

視察先： 八王子市立高尾山学園

視察日時： 2021年10月27日(水) 午前10:00~12:00

視察目的： 全国的に不登校児童生徒が増加する中、小中一貫の不登校特例校として2004年度から先駆的な教育活動をおこなっている八王子市立高尾山学園を訪ね、学校の理念、教育活動の内容について学校長よりお話を伺い、子どもたちの様子を見学させていただくことで、今後の不登校児童生徒の公的支援のあり方の参考にさせていただく。

視察内容： 八王子市立高尾山学園の教育活動についての説明(学校長より)及び、学園内の教育活動の様子を見学

<参加者>

西莖なお美(府中市)、平井里美(狛江市)、片山かおる(小金井市)、
内山さとし(武蔵野市)、田村広行(西東京市)、さかきばら登志子(調布市)、野村羊子(三鷹市)、
安竹洋平(小平市)、水口かずえ(小平市)、
辻よし子(あきる野市) 計10名

<集合>

高尾駅南口 バス停前 八〇四[京王] 館ヶ丘団地行
午前 9:30 時間厳守 (1本後のバスでは間に合いませんので)

(バス時刻)

高尾駅南口から穎明館高校前への乗換案内 | バスナビ.com | 京王バス・西東京バス
(navitime.biz)

(バス停)

乗換・時刻表検索|バスナビ.com | 京王バス・西東京バス (navitime.biz)

* JRを利用される方は、東京方面からの高尾駅着9時21分の電車があります。

(2) 午後の学習会

会場：八王子北野市民センター

北野市民センター | 八王子市 市民センター (hachiojibunka.or.jp)

日時：2021年10月27日(水) 午後1:30~4時頃

内容：

(前半)

幸地正憲さん(都市教育研究所代表)のお話
高尾山学園の設立の経緯および教育活動について

(後半)

高尾山学園視察の感想
各市の不登校児童生徒への支援の状況等

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 6

調査研究費		【内容説明欄】 令和3年度市町村議会議員研修「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【印

領 収 書

西東京市議会 田村 ひろゆき 様

金額 7,550 円

但し、

令和3年度市町村議会議員研修[2日間コース]「議会改革を
考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和3年10月28日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役

領収書No. 274

1.

2.

りて

令和3年度

市町村議会議員研修[2日間コース]

議会改革を考える

～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～

2006年に全国初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取組に着手して
います。新型コロナウイルスによりこれまでの常識が通用しなくなった中、より柔軟性の高い議会のあり方
が求められています。

本研修は、住民の関心を高め、二元代表制の一翼を担う議会としてさらなる役割を果たすために、以下に
ついて学び、各議会における改革の糸目を掴んでいただくことなるとして実施いたします。

研修の ポイント

- 議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など）について学ぶ。
- 議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。
- ダイアログ（自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法）を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。

開催要領

日程	令和3年11月4日(木)～11月5日(金)(2日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市町村議会議員の皆様 2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 過去に本研修を受講された方もお申し込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によって、お断りする場合がありますので、ご了承ください。
募集人数	60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を投分して抽選、決定します)。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み、受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿 泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
学 費	7,550円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和3年9月22日(水)まで ※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
申込方法	議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。 [Web申込み]が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXで受け付けています。 ※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)にも掲載しております。
受講決定	受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

令和3年

11月

4日(木)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講式・オリエンテーション

13:00~14:30

講演・質疑応答 VUCA時代における地方議会の展望

早稲田大学 名誉教授 北川 正恭 氏

地方自治を取り巻く現状を解説いただき、そのなかで議会や議員に求められている役割やあり方についてお話しいただきます。また、現在全国で進められている議会改革の動向についてもご紹介いただきます。

14:45~15:30

講演 「議会改革度調査」から見る地方議会

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

早稲田大学マニフェスト研究所において実施された「議会改革度調査」から見る先進議会の議会改革事例について、議会基本条例のあり方、作り方、改正や検証方法等も含めて、解説していただきます。

15:45~17:30

事例紹介・講演 住民参加・情報公開を進める取組①

大阪府箕面市議会 議員 中嶋 三四郎 氏

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

議員主導による議会だよりやホームページのリニューアル、議会のICT化、市長への政策提言など、市民との情報共有や議会からの情報発信、政策に繋げる取組を中心に「行動する議会」として改革の経緯や現状、今後の展望等をお話しいただいた後、質疑応答を通して理解を深めます。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:45

事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組②

精華町議会 議員 佐々木 雅彦 氏

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

首長からの提案待ち姿勢の「追認議会」から積極的調査・討議で、先手必勝提案「政策議会」へ変身するため、住民との関係や議会のあり方を見直し、活性化されています。前例主義が強い議会で、「まず、やってみよう」精神での取組をご紹介いただいた後、質疑応答を通して理解を深めます。

11:00~15:00 (途中昼休憩あり)

演習 各議会における今後の議会改革推進の検討

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

効率的な会議の行い方について学ぶために、「議会広報を考える」をテーマに、ダイアログ(対話)の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学びます。

15:00~15:15

閉講・事務連絡

令和3年

11月

5日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

研修報告書

研修会名：市町村議会議員研修「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」

日時：2021年11月4日（木）12：30～11月5日（金）15：15

場所：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）

内容：

11月4日、5日の2日間、滋賀県の研修施設にて市町村議会議員研修「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」に参加した。場所柄、西日本エリアからの参加議員が多かったが、北海道から沖縄まで70名以上の議員が参加した。

1泊2日の研修内容は、

- ①早稲田大学名誉教授・元三重県知事の北川正恭氏の講義
 - ②早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏の講義
 - ③大阪府箕面市議会の事例紹介
 - ④京都府精華町議会の事例紹介
 - ⑤参加議員によるグループワークとまとめ
- という盛りだくさんの内容であった。

①の北川正恭氏の講義は「VUCA時代における地方議会の展望」がテーマ。VUCA時代というのは、簡単に言うと予測不可能な時代という意味。このような時代には、これまでの経験をもとに次の計画を立て、実行するというPDCAサイクルに代わり、OODA（ウーダ）ループという考え方が注目されているという話が冒頭にあった。

具体的な事例として、以下のような事例が紹介された。

- 墨田区議会…政策提案に議会事務局も参加できるよう議会基本条例に明記した。
- 西脇市議会…議会全体、委員会単位、高校生向けなど年40～45回もの議会報告会を実施している。
- 高山市議会…高校生への主権者教育の実施で投票率がアップした。
- 取手市議会…オンライン委員会で表決を可能にする会議規則改正など、リモート議会のトップランナー。

その他、以下のような指摘があった。

- 議会が持っているのは監視機能だけではない。条例制定権を持ち、政策提案機能がある。二元代表制のもとで執行部とは対等。ぜひ機関競争をしてほしい。

■「改革」というとこれまで議員を減らす、政務活動費を減らすといった量的削減が目されてきた。これからは質的充実を目指すべき。北上市では議員の活動を徹底的に市民に公開、市民の理解を得て報酬をアップした事例もある。形式的ではなく、住民の生活に結びつく改革が必要。

■監視機能だけからの脱却には議員間討議を活発にすることが必要だ。歳費や定数等、議員に直結する話題から取り組んでいくのが良い。

■個々の「議員」ではなく、総体としての「議会」が信頼される存在になること。

キーワードはTTP(徹底的にパク)だが、パクするのは考え方。実際のやり方はそれぞれの地域ごとにカスタマイズの必要があるとのこと。様々な先進事例に学びつつ、西東京市議会ではどの部分が真似できるか、どんなやり方だったら実践できるかを考えていきたい。

②の中村健氏の講義は『「議会改革度調査」から見る地方議会』がテーマ。冒頭に「あなたはなぜ議員になったのか」「あなたの自治体の課題は」「それは解決に向けて進んでいるか」といった問いかけがあり、2025年までに行政手続きの98%をデジタル化せよと言われる中、役所で残る部署はどこか、議会の傍聴するのになぜ「関所」が必要なのか、住民と言っても必ず議会活動に参加する人から無関心な人までいる中、あなたが声を聴いている「住民」とは誰か、など様々な問題提起があった。

具体的な事例として、以下のような事例が紹介された。

■太田市議会…氏名や住所の記入を不要とし、乳幼児や児童の入場も可能と明記した。

■北海道福島町議会…「傍らで聴く」と書く傍聴者という言葉を使わず、「参画者」という言葉を使用する。

■長野県高森町…「子育て支援に力を入れる」と総合戦略に記し、「建設課ができる子育て支援」として子育てママとの意見交換を通じ駐車場や公園の改修を行った。

■可児市議会…子育て中の女性が参加する「ママさん議会」を開催し、子育て健康プラザに意見を反映した。

③では大阪府箕面市議会の議員が以下のような事例紹介を行った。

地域別、分野別意見交換会の実施。本会議、常任・特別委員会、議会運営委員会を平成27年からすべてライブ・録画配信し、アーカイブは無期限公開。議会だよりを「読みやすく」「親んでもらう」ためにフルカラーでリニューアル。こうした取り組みを踏まえた議会基本条例の制定。グループウェア・タブレット活用によるペーパーレス化。

議会だよりのリニューアルはまさに私がいま所属している広報委員会の課題として取り組んでいることであり、文字数の削減、写真・イラストの多用、録画配信動画への誘導などは西東京市議会でも参考になる話だった。

④では京都府精華町議会の議員が以下のような事例を紹介した。

通年議会の施行・実施。産前産後休暇制度の創設。正副議長選挙時の所信表明の実施。議員間討議の委員会への導入。傍聴規則の大幅改正(録画録音 OK、風貌による入室規制撤廃)。住民参加の研修会、ワールドカフェ方式による意見交換会の実施など。

話の中で、議会「改革」という言葉はあまり使わないようにし、議会「活性化」という言葉を使った。改革というと何か今あるものを否定するようで構えられてしまうが、本来あるものを活発化させるんだという趣旨で「活性化」としたのだという説明があった。

また、精華町議会では議員の担い手不足という問題も抱えており、現職議員が良い実践を展開し、「なりたい!」と思える議員像を示しているか?という問いかけもあった。

質疑応答で、無所属の一人会派だという議員から「どう取り組めばよいか」と質問があり、「2人、3人と少しずつ共感する仲間を増やしていく」「会派を超えて取り組めるものから手をつける」「議員間討議であればいきなり議案でやらず、議員が共通して問題と感じているテーマから始める」といったアドバイスがあった。

⑤の参加議員によるグループワークでは、3人から4人のグループで「議会だよりをどのように改善すればよいか」というお題でディスカッションを行った。私のグループは、川越市議会、南アルプス市議会、池田市議会の議員が参加。3市ともA4サイズの議会だよりであった。西東京市議会のようなタブロイド判は少数派になりつつある。

現状については多くが「読まれていない」を挙げ、その理由に「そもそも興味がない」「読んでも得することがない」といった指摘があった。解決策として、「見出しが大事」「QRコードによる動画への誘導」「インタビュー記事など市民を載せる」「議員の顔をにこやかに、動きのある写真を」などが挙げられた。議会に関するクイズやクロスワードパズルを入れてはどうか、プレゼントが当たる企画はどうかといったアイデアも出た。

この後、全体の振り返りとまとめがあり、ここでも多くの先進事例が紹介された。

■あきる野市議会…議会だよりのリニューアルの際、どのデザインの冊子がいいか市民アンケートを実施。

■犬山市議会…公募により1人5分以内の市民フリースピーチ制度を実施。

■長崎県小値賀町議会…模擬公聴会として、議員の一般質問に対して1人3分以内で傍聴者が意見を述べる時間を設ける。

■戸田市議会…各常任委員会で年間の活動テーマを定め、年間活動計画と活動成果を公表。

■町田市議会…住民が提出した請願について、委員会で意見陳述を機会が設けられている。

■兵庫県太子町議会…議場を1階に配置し、自習室、フリースペースとして開放する。

最後に参加者へのメッセージとして、「それって、住民にとって、地域にとって、どうなの?」

という生活者起点を常に大事にしてほしい。1人1人の力は微力だが、あきらめずに仲間を作ることで乗り越えられる。「あの人が言っているから！」と言われるような信頼される存在になってほしい。といった話があった。

2日間で聴いた話はどれも「いいな」「こうなりたいな」と思うものばかりだったが、あれもこれもと手をつけることはできない。今の西東京市議会で考えれば、まず何から取り組めるか、どのテーマであれば合意形成が図れるかといったことを考えながら、一歩ずつ取り組んでいきたい。

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 7

調査研究費		【内容説明欄】 オンライン研修会「オンライン議会最前線 実践と可能性」参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 2022年1月31日（月）ローカル・マニフェスト推進連盟《オンライン研修会》『オンライン議会最前線 実践と可能性』

発行日	2022年3月21日
宛名	タムラヒロユキ
合計	¥5,000
但し	チケット代金
注文日	2022年1月24日
注文番号	15138623
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	2022年1月31日（月）ローカル・マニフェスト推進連盟《オンライン研修会》『オンライン議会最前線 実践と可能性』



印刷する

編集モード

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

オンライン議会最前線

ローカル・マニフェスト推進連盟
オンライン研修会



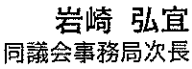
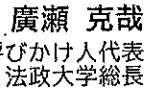
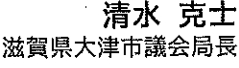
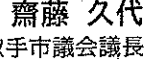
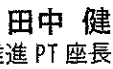
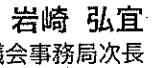
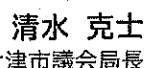
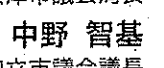
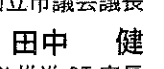
実践と可能性



2020年の新型コロナウイルス感染症は、議会活動にも大きな影響をあたえました。初期においては専決処分や一般質問のとりやめなどの事例が一部報道されましたが、多くの議会では自治体の議事機関としての機能を果たすべくさまざまな工夫によりその機能の発揮や維持への取り組みが行われています。

「議員が集まって議論する」という議会の本質的なありかたについて、その本質を問い直し、非常事態における議会機能の維持とさらなる活動展開へ、オンラインを活用する議会が一気に広がり、さまざまなオンライン議会の活動が展開されています。

なぜオンラインに取り組むのか。非常事態以外でも活用すべきか。本会議でも可能なのか。先進事例の報告と必要な環境整備、条例改正など今後のオンライン議会の可能性を議論します。ぜひご参加ください。

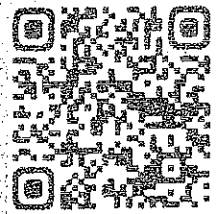
基調提起 「DXとデモテックで地方から・議会から変えていけ」 北川 正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事		基調講演 「討論の広場と議事機関としての議会とオンライン」 廣瀬 克哉 自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表 法政大学総長	
実践報告 「デモテック前進！ デジタルとオンラインで議会が変わる」 齋藤 久代 茨城県取手市議会議員		ディスカッション コーディネーター 廣瀬 克哉 自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表 法政大学総長	
実践報告 「コロナと非常事態に備える！ オンライン本会議表現へのミッションロードマップ」 清水 克士 滋賀県大津市議会局長		パネリスト 齋藤 久代 取手市議会議員	
実践報告 「もっと市民に開いていく！ 議会DXの推進でチャンスロスをなくせ」 中野 智基 愛知県知立市議会 議長		パネリスト 岩崎 弘宜 取手市議会事務局次長	
		パネリスト 清水 克士 大津市議会局長	
		パネリスト 中野 智基 知立市議会議員	
		パネリスト 田中 健 知立市議会議員・議会DX推進PT座長	

日時	2022年1月31日(月) 14時から16時30分まで	参加費	議員 5,000円(税込) 一般(市民・議会事務局職員等) 2,000円(税込)
会場	Zoomミーティング	申込期限	2022年1月28日(金) 17時
対象	議員、首長、議会事務局・自治体職員、市民等		

お申込

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/news/2021121300013/>

《注意事項》1. お申し込み前にホームページ記載の留意事項を必ずご確認ください。
2. 請求書払いのご希望は専用フォームにて発行手続きをしてください。 [こちらからお申し込みください](#)
《問合せ先》事務局：早稲田大学マニフェスト研究所(担当：山内、亀井) 電話番号：03-6214-1315 メール：mani@maniken.jp



領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 8

調査研究費		【内容説明欄】 草の根ロビイング勉強会参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 『草の根ロビイング勉強会』～子どもの権利や子どもアドボカシーの視点から「こども家庭庁」と「子ども基本法」の意義を考える 2022年2月25日（金）ZOOMオンライン講座

発行日	2022年3月21日
宛名	タムラ ヒロユキ
合計	¥1,000
但し	チケット代金
注文日	2022年2月24日
注文番号	15538101
主催者	明智 カイト (市民アドボカシー連盟)
イベント名	『草の根ロビイング勉強会』～子どもの権利や子どもアドボカシーの視点から「こども家庭庁」と「子ども基本法」の意義を考える 2022年2月25日（金）ZOOMオンライン講座



印刷する

編集モード

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

『草の根ロビイング勉強会』

子どもの権利や子どもアドボカシーの視点から
「こども家庭庁」と「子ども基本法」の意義を考える

講師:

甲斐田 万智子氏 認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事

2022年2月25日(金)ZOOMオンライン講座

イベントに参加できます

イベントに参加

イベントは終了です

『草の根ロビイング勉強会』～子どもの権利や子どもアドボカシーの視点から「こども家庭庁」と「子ども基本法」の意義を考える
2022年2月25日(金) ZOOMオンライン講座

詳細

NPO法人 市民アドボカシー連盟では、2016年からNPO等でのロビイング実践者をはじめ、自治体首長、国会議員政策秘書、メディア記者、助成・プロボノ支援者など様々な方々を講師にお招きして『草の根ロビイング勉強会』を開催しています。

今回は、広げよう！子どもの権利条約キャンペーン共同代表として、子どもの権利保障のために子ども家庭庁、子ども基本法が子どもの権利に基づいたものになるように政府や議員にはたらきかけてきた甲斐田 万智子さん(認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事)にお話を伺います。

特に子どもアドボカシーの視点がどのような子ども家庭庁、子ども基本法、子どもコミッションが必要かについて皆さんと一緒に考えたいと思います。

『草の根ロビイング勉強会』～子どもの権利や子どもアドボカシーの視点から「こども家庭庁」と「子ども基本法」の意義を考える

日時: 2022年2月25日(金) 19:30~21:30

場所: zoom (参加登録時のメールアドレス宛にzoomのイベントURLをお送りします)

参加費: 1,000円 (事前決済・キャンセル不可)

※市民アドボカシー連盟の「正会員」「賛助会員」は会員特典として『草の根ロビイング勉強会』が毎回無料で参加できます。「会員専用」より参加をお申込みください。

【入会案内】(https://lobbyingadvocacy.mystrikingly.com/#_6)ページ

主催: 市民アドボカシー連盟

★★★お申込み★★★

右のチケットからお申込みください。

※お申し込み後、Peatixからメールが届きますので、必ず確認してください。

※事前決済のキャンセルは受け付けておりませんのであらかじめご了承ください。

<スケジュール>

19:30 オープニング、市民アドボカシー連盟の紹介

19:35 甲斐田 万智子氏による講演『子どもの権利や子どもアドボカシーの視点から「こども家庭庁」と「子ども基本法」の意義を考える』

21:00 参加者の方を交えた質疑応答・意見交換

21:30 終了

2022/02/25 (金)

19:30 - 21:30 JST

📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

チケット

参加費

受付終了
¥1,000

会員専用 (無料)

満席

主催者

市民アドボカシー連盟

フォロワー数: 314

主催者へ連絡

グループをフォロー

参加者

29

<登壇者プロフィール>

・甲斐田 万智子氏(認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事。文京学院大学教員)
大学卒業後、日本ユニセフ協会勤務。その後、ブータン、インドに滞在しストリートチルドレンや貧困少女たちにかかわる。1996年にシーライツに入職。国内外で子どもの権利普及活動に携わる。2004年からカンボジアで児童労働・人身売買防止事業に従事し、2010年に帰国。2019年より、広げよう!子どもの権利条約キャンペーン共同代表として政策提言活動に従事し、子どもの意見表明・アドボカシーの重要性について提言。2020年はLGBTQ+などコロナ禍におけるマイノリティ子どもの声を聴く事業を実施。編著『世界中の子どもの権利をまもる30の方法』(合同出版)、共著『SDGsと開発教育:持続可能な開発目標のための学び』(学文社)など。

<書籍の紹介>

明智カイト著『誰でもできるロビイング入門 社会を変える技術』(光文社新書)
Amazon : <https://www.amazon.co.jp/dp/4334038948>
(<https://www.amazon.co.jp/dp/4334038948>)

【NPO法人 市民アドボカシー連盟】

20代30代が中心となって結成。これからの社会課題解決、社会をより良くしていく手法として、ぜひ意識をしたい「ロビイング」をテーマに定期的に『草の根ロビイング勉強会』を開催している。

公式サイト : <http://lobbyingadvocacy.strikingly.com/>
(<http://lobbyingadvocacy.strikingly.com/>)

<市民アドボカシー連盟の「正会員」「賛助会員」を募集しています!>

◎年会費は正会員6,000円/賛助会員(個人・団体)1口6,000円(1口以上)となります。
【入会案内】(https://lobbyingadvocacy.mystrikingly.com/#_6)ページ

*市民アドボカシー連盟の「正会員」「賛助会員」には以下の会員特典があります。

(1)『草の根ロビイング勉強会』『会員限定勉強会』(参加費1,000円)が毎回無料で参加できます。

(2)2020年5月よりzoomを導入し、『草の根ロビイング勉強会』『会員限定勉強会』の動画を会員にのみ限定公開しており、勉強会の内容をいつでも視聴できます。

(3)市民アドボカシー連盟からの紹介により連携団体への各種割引が適用されます。

・NPO法人Grassroots Japanのグラスルーツスクール入学金5万円+受講料(本科25万円、オンライン科15万円)が、10%OFFになります。他の割引との併用はできません。

・NPO法人I-CASの議員インターンシッププログラム参加費5,000円(社会人)が、20%OFFの4,000円になります。

※これから連携団体を増やしていく予定です。

(4)情報共有・意見交換・悩みの共有と相談ができる「場」を設けます。また、「事例研究会」「政策研究会」など会員主体の研究会に参加できます。

【過去の『草の根ロビイング勉強会』開催報告記事】⇒団体HPの「セミナー情報」(https://lobbyingadvocacy.mystrikingly.com/#_7)もご覧ください!

<参加申し込み>

右のチケットからお申込みください。

- ・お申し込み後、Peatixからメールが届きますので、必ずご確認ください。
 - ・参加費用はクレジットカード、コンビニ払い、銀行振込等の前払いとなっています。
 - ・事前参加申込は2月25日(金)17時に締め切ります。
 - ・定員になった場合には、その時点で申込締め切りとなります。
 - ・なお、コンビニ払い、ATM払いの場合は、2月24日(金)24時までの申込手続きが必要となりますので、お早めにお申し込みください。
 - ・当日現金での受付は対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・キャンセルは受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・領収書はPeatixのサイトから印刷するものとなります。
- ※クレジットカード決済等が難しい方は以下の【お問合せ先】よりご連絡ください。

【お問合せ先】

市民アドボカシー連盟
http://lobbyingadvocacy.strikingly.com/#_9
(http://lobbyingadvocacy.strikingly.com/#_9)
※上記URLの「お問い合わせ」からご連絡ください。

【チケットのお申し込みに関するお問い合わせ】

Peatixコールセンター
0120-777-581
10:00 ~ 18:00 | 年末年始、GWを除く